



## 2021年10月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年12月7日

上場会社名 くら寿司株式会社

上場取引所 東

コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 津田 京一

TEL 072-493-6189

定時株主総会開催予定日 2022年1月25日

配当支払開始予定日

2022年1月26日

有価証券報告書提出予定日 2022年1月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年10月期の連結業績(2020年11月1日～2021年10月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	147,592	8.7	2,678		3,174	179.5	1,901	
2020年10月期	135,835	0.2	350	93.6	1,135	81.5	262	

(注) 包括利益 2021年10月期 2,041百万円 ( %) 2020年10月期 905百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年10月期	47.98		4.1	3.4	1.8
2020年10月期	6.65		0.6	1.5	0.3

(参考) 持分法投資損益 2021年10月期 百万円 2020年10月期 百万円

(注) 当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期	98,989	54,657	48.7	1,216.39
2020年10月期	85,102	47,569	51.9	1,116.12

(参考) 自己資本 2021年10月期 48,238百万円 2020年10月期 44,138百万円

(注) 当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年10月期	4,738	9,477	2,458	18,748
2020年10月期	8,935	8,336	1,164	20,611

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年10月期		0.00		40.00	40.00	790		1.7
2021年10月期		0.00		20.00	20.00	793	41.7	1.7
2022年10月期(予想)		0.00		20.00	20.00			

当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年10月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2022年10月期の連結業績予想(2021年11月1日～2022年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,869	28.0	2,827		4,955	56.1	2,878	51.4	72.63

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期	41,399,600 株	2020年10月期	41,399,600 株
期末自己株式数	2021年10月期	1,743,030 株	2020年10月期	1,853,620 株
期中平均株式数	2021年10月期	39,621,093 株	2020年10月期	39,526,120 株

(注)当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考)個別業績の概要

2021年10月期の個別業績(2020年11月1日～2021年10月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	131,562	6.8	1,612		4,451	50.7	2,668	181.3
2020年10月期	123,160	0.5	2,058	56.5	2,953	46.3	948	71.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期	67.35	
2020年10月期	23.99	

(注)当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期	67,826	43,722	64.5	1,102.51
2020年10月期	65,887	41,504	63.0	1,049.53

(参考)自己資本 2021年10月期 43,722百万円 2020年10月期 41,504百万円

(注)当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 経営成績等の概況(1)経営成績に関する分析 2次期の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する分析

#### ① 当期の経営成績

当連結会計年度(2020年11月1日から2021年10月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用により、企業や個人の経済活動は停滞いたしました。また、原油や商品価格が上昇するなど、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた各自治体からの営業自粛要請や酒類提供の中止等の制約により厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループはお客様と従業員の安全を第一に考え、様々な感染症対策を講じてまいりました。2011年に導入した会話による飛沫などの菌やウイルスからお寿司とお皿を守る、当社特許取得済みの抗菌寿司カバー『鮮度くん』を含め、入店から退店までお客様が従業員と接することなく飲食できるセルフ会計やセルフレジを備えた「スマートくら寿司」への積極的な投資を行い、2021年10月には国内ほぼ全店に導入を完了いたしました。

また、漁業の持続的な発展に資するため、日本で初めて飼料製造から養殖、製品加工までの生産プロセスを管理し、第三者機関から有機水産物認証を受けた「オーガニックはまち」の養殖を開始いたしました。安心・安全な食の提供のため創業以来全食材から『四大添加物(化学調味料・人工甘味料・合成着色料・人工保存料)』を排除した商品を開発・提供しておりますが、養殖におきましても安心・安全な食材の安定調達のため、積極的な取り組みを行ってまいります。

店舗開発につきましては、日本30店舗、米国7店舗、台湾11店舗に新規出店し、新型コロナウイルス感染症拡大の環境下ではありましたが、収束後を見据え、都市部を中心に積極的な出店を継続し、当社グループ全体で48店舗の新規出店を行いました。これにより、当連結会計年度末の店舗数は、全て直営で567店舗(「無添蔵」4店舗、くら天然魚市場1店舗、米国32店舗、台湾40店舗を含む)となりました。設備投資としては、新規出店に伴う造作設備等に100億23百万円、既存店舗の設備等に19億31百万円、その他5億17百万円、合計124億72百万円となりました。前連結会計年度の94億3百万円を大きく上回りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は過去最高となる1,475億92百万円となりました。経常利益は31億74百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は19億1百万円となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

#### ① 日本

3度にわたる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用により、2021年9月には約9割の店舗において時短営業の実施や酒類提供の中止等大きく営業制限を受けました。

このような状況のもと、「贅沢かに」「超とろづくし」など主に定番商品を中心としたフェアを毎月実施いたしました。また、フェアに合わせて「ビックらポン!」で「鬼滅の刃」など人気アニメのグッズが当たるキャンペーンを実施いたしました。

この結果、「スマートくら寿司」などの感染症対策への高い評価もあり、当連結会計年度の既存店売上高がコロナ前の2019年10月期比で100.4%とコロナ前の水準を回復いたしました。緊急事態宣言が解除された10月以降は営業制限の緩和に伴い売上は回復基調にあります。

以上の結果売上高は1,315億62百万円(前年同期比6.8%増)、経常利益44億51百万円となり当該連結会計期間の日本における売上高は過去最高を更新いたしました。

#### ② 北米

米国子会社(KSU)におきましては、2021年6月以降、全米のレストランの座席制限規制が撤廃され、16店舗を展開するカリフォルニア州における50%の座席制限も撤廃されました。コロナにより閉店した飲食店も多く、通常営業再開後は既存店売上高も特にカリフォルニア州やテキサス州においてコロナ前を上回るなど順調な回復となっております。

この結果売上高69億51百万円(前年同期比42.5%増)、経常損失10億79百万円となりました。

#### ③ アジア

台湾子会社(KSA)におきましては、2021年5月にコロナ感染症が拡大し、5月21日に全台湾を対象に4段階ある警戒レベルの上から2番目の「警戒レベル第3級」が発令され、7月末までの約2か月半、飲食店における店内飲食が禁止されました。その後売上は急速に回復し、売上高は90億77百万円(前年同期比16.4%増)と過去最高を更新いたしました。経常損益は店内飲食禁止の影響により1億36百万円の損失となりました。

## ②次期の見通し

次期の業績の見通しにつきましては、売上高1,888億69百万円（前連結会計年度比28.0%増）、経常利益49億55百万円（同56.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益28億78百万円（同51.4%増）を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

## ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産額は989億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して138億86百万円増加となりました。これは主に流動資産のその他が32億58百万円、有形固定資産が114億50百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して67億98百万円増加し、443億32百万円となりました。これは主に未払法人税等が11億12百万円、固定負債のリース債務が57億93百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、資本剰余金が24億39百万円、非支配株主持分が28億25百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して70億88百万円増加し、546億57百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが47億38百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが94億77百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが24億58百万円の収入となりました。この結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）残高は、187億48百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は47億38百万円（前年同期比47.0%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が29億23百万円となり、助成金の受取額が33億22百万円あった一方で、未払消費税等の減少額が17億76百万円あったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は94億77百万円（前年同期比13.7%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が81億16百万円、貸付けによる支出が3億25百万円、差入保証金の差入による支出が7億49百万円あったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果得られた資金は24億58百万円（前年同期は11億64百万円の支出）となりました。これは連結子会社の増資による収入が52億57百万円あった一方で、リース債務の返済による支出が28億49百万円、配当金の支払が7億92百万円あったこと等によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 10月期	2018年 10月期	2019年 10月期	2020年 10月期	2021年 10月期
自己資本比率	65.7%	66.3%	64.5%	51.9%	48.7%
時価ベースの自己資本比率	190.1%	218.6%	132.1%	146.1%	147.2%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.5年	0.5年	0.5年	1.7年	4.6年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	160.4倍	158.5倍	119.9倍	82.4倍	29.3倍

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

①利益配分に関する基本方針

当社は、健全な財務体質の維持及び将来の事業展開等、事業に必要な投資に備えるための資金確保を考慮した上で、長期的に安定的かつ継続した企業価値向上をはかり、株主の皆様に対して、安定した利益配当を継続していくことを基本方針としております。

内部留保における資金につきましては、業容の拡大に向けた財務体質の強化及び店舗の新設、その他の資金需要を賄う原資として活用してまいります。

②当期・次期の配当金

当事業年度の配当につきましては、当社普通株式1株につき20円とする議案を2021年12月21日開催の取締役会に付議する予定です。

また、次期の配当につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。

加えて、当社は株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の商品やサービスをより一層ご理解頂くことを目的として、期の間におきまして、株主優待制度を実施しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の当社グループの海外進出状況や外国人株主比率の推移を勘案した上で、必要に応じて日本基準以外の会計基準の適用を検討してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,611	18,748
売掛金	3,854	3,554
原材料及び貯蔵品	1,715	1,798
その他	1,977	5,363
流動資産合計	28,158	29,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,284	47,230
減価償却累計額	△19,035	△21,134
建物及び構築物 (純額)	22,249	26,096
機械装置及び運搬具	5,323	6,474
減価償却累計額	△3,716	△4,181
機械装置及び運搬具 (純額)	1,607	2,292
土地	4,692	4,836
リース資産	8,630	10,046
減価償却累計額	△4,169	△4,725
リース資産 (純額)	4,460	5,320
使用権資産	9,895	16,881
減価償却累計額	△189	△2,090
使用権資産 (純額)	9,706	14,791
その他		
その他 (純額)	2,577	3,406
有形固定資産合計	45,293	56,744
無形固定資産		
リース資産	200	224
その他	505	675
無形固定資産合計	705	899
投資その他の資産		
長期貸付金	4,428	4,380
繰延税金資産	355	531
差入保証金	5,411	6,132
その他	750	836
投資その他の資産合計	10,945	11,881
固定資産合計	56,944	69,525
資産合計	85,102	98,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,509	6,086
短期借入金	—	805
リース債務	2,688	2,996
未払金	6,798	6,885
未払法人税等	1,564	2,676
その他	5,023	3,745
流動負債合計	22,584	23,195
固定負債		
リース債務	12,356	18,149
資産除去債務	2,093	2,371
その他	499	616
固定負債合計	14,948	21,136
負債合計	37,533	44,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	5,183	7,622
利益剰余金	39,203	40,313
自己株式	△2,280	△2,139
株主資本合計	44,111	47,802
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26	435
その他の包括利益累計額合計	26	435
新株予約権	190	354
非支配株主持分	3,239	6,065
純資産合計	47,569	54,657
負債純資産合計	85,102	98,989



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
売上高	135,835	147,592
売上原価	60,902	66,795
売上総利益	74,933	80,796
販売費及び一般管理費	74,582	83,475
営業利益又は営業損失(△)	350	△2,678
営業外収益		
受取利息	106	49
為替差益	62	206
受取手数料	412	443
物販収入	150	102
助成金収入	120	5,233
その他	153	129
営業外収益合計	1,005	6,163
営業外費用		
支払利息	108	161
物販原価	80	59
その他	31	90
営業外費用合計	220	311
経常利益	1,135	3,174
特別利益		
新株予約権戻入益	80	—
特別利益合計	80	—
特別損失		
固定資産除却損	76	120
減損損失	700	130
特別損失合計	776	251
税金等調整前当期純利益	439	2,923
法人税、住民税及び事業税	1,031	1,670
法人税等調整額	421	△166
法人税等合計	1,453	1,504
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,013	1,419
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△750	△482
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△262	1,901

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,013	1,419
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	107	622
その他の包括利益合計	107	622
包括利益	△905	2,041
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△168	2,310
非支配株主に係る包括利益	△737	△268

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,005	4,146	40,255	△2,354	44,053
当期変動額					
剰余金の配当			△789		△789
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△262		△262
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		74		74	148
連結子会社の増資による持分の増減		962			962
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	1,036	△1,052	73	58
当期末残高	2,005	5,183	39,203	△2,280	44,111

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△67	△67	167	3,058	47,211
当期変動額					
剰余金の配当					△789
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					△262
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					148
連結子会社の増資による持分の増減					962
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	94	94	23	181	299
当期変動額合計	94	94	23	181	357
当期末残高	26	26	190	3,239	47,569

当連結会計年度 (自 2020年11月 1 日 至 2021年10月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,005	5,183	39,203	△2,280	44,111
当期変動額					
剰余金の配当			△790		△790
親会社株主に帰属する当期純利益			1,901		1,901
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		198		141	339
連結子会社の増資による持分の増減		2,240			2,240
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	2,439	1,110	141	3,690
当期末残高	2,005	7,622	40,313	△2,139	47,802

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	26	26	190	3,239	47,569
当期変動額					
剰余金の配当					△790
親会社株主に帰属する当期純利益					1,901
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					339
連結子会社の増資による持分の増減					2,240
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	409	409	163	2,825	3,397
当期変動額合計	409	409	163	2,825	7,088
当期末残高	435	435	354	6,065	54,657

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	439	2,923
減価償却費	5,290	6,269
減損損失	700	130
受取利息	△106	△49
支払利息	108	161
新株予約権戻入益	△80	—
助成金収入	—	△5,233
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△371	△71
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,961	327
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,373	△466
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,162	△1,776
その他	1,529	15
小計	10,085	2,230
利息の受取額	60	6
利息の支払額	△108	△161
助成金の受取額	—	3,322
法人税等の支払額	△1,101	△658
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,935	4,738
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,014	△8,116
有形固定資産の売却による収入	—	19
無形固定資産の取得による支出	△218	△299
貸付けによる支出	△481	△325
差入保証金の差入による支出	△580	△749
差入保証金の回収による収入	55	83
その他	△97	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,336	△9,477
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△38	766
リース債務の返済による支出	△2,218	△2,849
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△788	△792
非支配株主への配当金の支払額	△11	△29
ストックオプションの行使による収入	—	105
連結子会社の増資による収入	1,892	5,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,164	2,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	210	417
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△354	△1,862
現金及び現金同等物の期首残高	20,965	20,611
現金及び現金同等物の期末残高	20,611	18,748

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、飲食事業を営んでおり、国内においては当社が、北米及びアジアはそれぞれの現地法人が担当しております。

現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う商品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは飲食事業を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、経常利益又は経常損失ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	123,160	4,879	7,796	135,835	135,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	123,160	4,879	7,796	135,835	135,835
セグメント利益又は 損失 (△)	2,953	△1,743	△17	1,192	1,135

(注) セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。

当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	131,562	6,951	9,077	147,592	147,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	131,562	6,951	9,077	147,592	147,592
セグメント利益又は 損失 (△)	4,451	△1,079	△136	3,236	3,174

(注) セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
1株当たり純資産額	1,116.12円	1,216.39円
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	△6.65円	47.98円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。また、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益又は当期純損失を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益又は当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
(1) 1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)	△262	1,901
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)	△262	1,901
普通株式の期中平均株式数 (株)	39,526,120	39,621,093
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	－	－
(うち、連結子会社の潜在株式による調整額) (百万円)	－	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。